

専門職としての教師

福野裕美（岡山学院大学／教育制度学）

院内学級教師 副島賢和の仕事

～涙も笑いも、力になる～

- ◆ 種別：DVD（テレビ放送番組）
- ◆ 製作年：2011年
- ◆ 製作国：日本
- ◆ 企画／制作：NHK
- ◆ 発行／販売：NHK エンタープライズ
- ◆ 時間：本編 47分／特典 24分
- ◆ 音声／字幕：日本語
- ◆ 価格：¥3,500＋税



©2011 NHK

あらすじ

病気やケガで入院中の子どものために、病院で授業を行う「院内学級」。病気の子どもに寄り添い、ユニークな授業で注目されているのが教師・副島賢和だ。入院する子どもの多くは家族に迷惑をかけていると考え、自分を責めてしまう。副島はそんな子どもたちと向き合い、さまざまな手だてを駆使して、「自分を大切にしよう」とメッセージを送る。子どもたちを元気にする“魔法の教室”に密着したドキュメンタリー作品である。

シーン再現

ナレーション：副島さんは 子どもたちの前でよくドジを踏む。

副島（指折り数えながら）：13、12、11、10、9、8、しち、なな、6、5、4、3、あれ？

ナレーション：実はこれ、意識的にやっているという。さらにトレードマークの受けないダジャレ。

子ども：その前にトイレ。

副島：行っトイレ。べんきでね。

子ども：ワイヤーって、手、切りやすいよね。

副島：わーいやーって感じだもんね。

ナレーション：こうしたことを繰り返すことで子どもたちが警戒しなくなる。自分も失敗していいとリラックスできるようになると考えている。

Chapter	
1. 今回のプロフェッショナル／	3'04
2. 院内学級 心のドラマ／	5'01
3. プロフェッショナルの技／	3'16
4. 病気の子どもを支える先生／	10'29
5. 1人の少年との出会い／	9'39
6. 涙も笑いも、力になる／	14'51
7. プロフェッショナルとは、	1'07



ピエロに扮する副島氏

さまざまな分野で活躍するプロフェッショナルを紹介するシリーズの1つである。本作では、院内学級教師・副島賢和氏を取り上げる。理念上、教師の仕事は専門職（profession）であると考えられているが（1966年ILO・ユネスコ「教員の地位に関する勧告」）、その実態は準専門職（semi-profession）ともいわれる。副島氏の実践を通して、専門職としての教師の姿に迫る。

「院内学級」とは、法律上に定められた正式な名称ではなく、学校教育法第81条第3項*の規定に基づいて病院内に設置される病弱・身体虚弱特別支援学級が、通称「院内学級」と呼ばれている。院内学級を担当する教師は、本校となる小学校や中学校の教師の中から、通常の学級担任と同じように決められ、病院内に設置された学級に派遣される。

入院中の子どもたちは病気やケガの治療を受けており、その病状も多様である。したがって通常の学級とは異なり、院内学級では教育内容を精選し、各自の状態に合わせてさまざまな配慮を行う。院内学級教師になるための特別な資格は定められていないが、実際の現場では病気や治療についての知識、医療との連携、そして病気の子どもの気持ちを受け止めることなど、幅広くかつ高度な専門性が求められる。

副島氏はさまざまな方法で、子どもたちの心を解きほぐしていく。例えば、子どもたちの前でわざとドジを踏み、受けないダジャレを言い、赤いスポンジを鼻につけてピエロに扮しておどけてみせる。手術を控える少女には、心理学の手法を用いながら彼女の不安な気持ちを和らげていく。自分の素直な気持ちを言葉にできない少年には、彼が好きな玩具を渡し、なじみある歌のテープを流して少しずつ心を開かせる。これらの型にはまらないプロフェッショナルの技は、副島氏が大学院で身につけた専門的な知識と、院内学級で多くの子どもたちに関わってきた経験に裏打ちされている。

教師の仕事が準専門職といわれる理由として、専門家としての自律性が十分に保障されていないことや、必ずしも専門的知識が明確にされていないことなどが指摘されている。しかし自由でユニークであり、かつ専門的な知識に基づいた院内学級教師・副島氏の実践からは、まさに専門職としての教師の姿を見て取ることができる。

*学校教育法第81条第3項：前項に規定する学校においては、疾病により療養中の児童及び生徒に対して、特別支援学級を設け、又は教員を派遣して、教育を行うことができる。

Information

副島氏はホスピタル・クラウン（道化師が病院で活動すること）の活動もしており、映画『パッチ・アダムス』のモデルとして有名なハンター・キャンベル・アダムス氏の活動にも参加している。

【DVD】『パッチ・アダムス』監督：トム・シャドヤック、原作：ハンター・ドハーティ・アダムス、製作国：アメリカ、発売：ユニバーサル・ピクチャーズ・ジャパン、本編115分、英語・日本語音声、英語・日本語字幕。